

富士見市防災環境カルテ
渡戸3丁目町会

位置番号 6

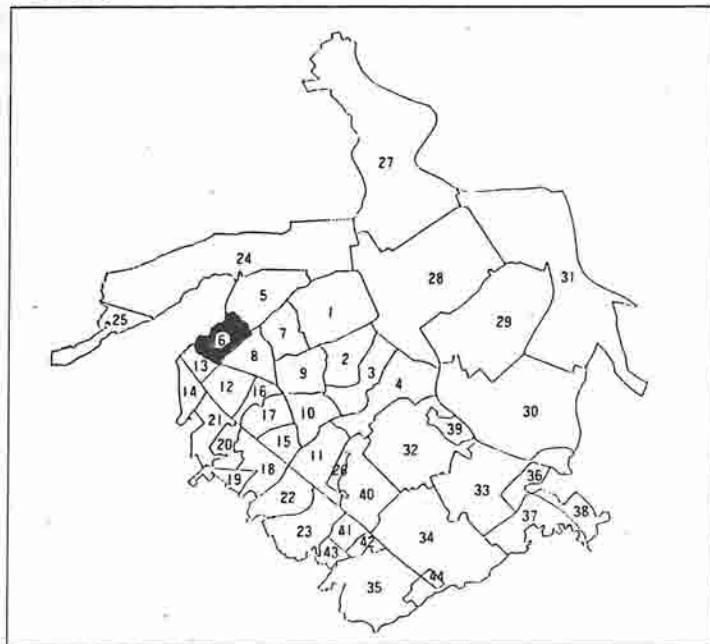
・概況

渡戸3丁目町会は、富士見市の北西部に位置し、北側は大井町に隣接する一部低地（谷底平野）と、東側、西側、南側は台地（台地段丘）で形成されていて、住宅と畑が混在している。

水害履歴からは、台風による大雨のため住宅地周辺の低い所（畑）に雨水が集まり、冠水する内水災害が発生することが予想される。

地震災害は、木造建物密集地で災害が発生した場合に、延焼の危険性がやや高いと予想される。

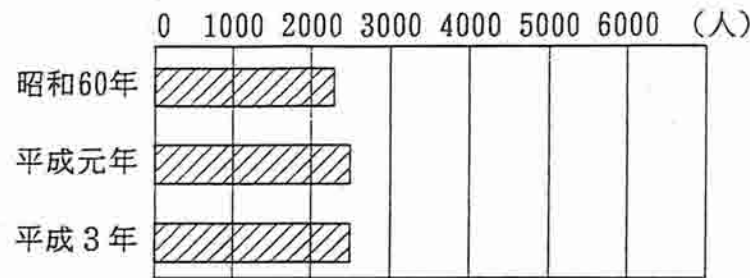
・位置図



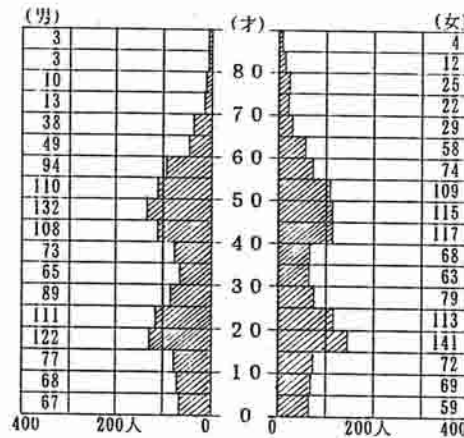
1. 基礎指標

・面積	0.186 km ²
・人口(平成3年10月1日現在) 男	1,228人
女	1,226人
計	2,454人
・人口密度	13,193.5人/km ²
・寝たきり老人数	3人
・ひとり暮らし老人数	15人
・世帯数	808世帯

・人口推移

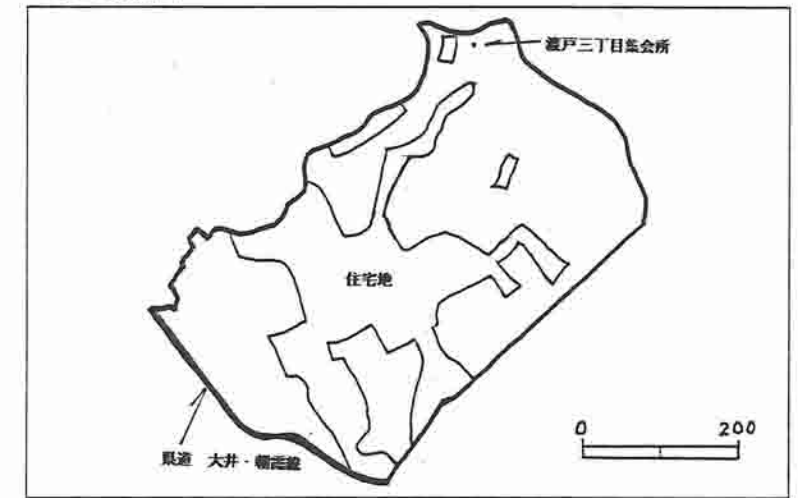


・年齢別人口(平成3年)



・商住工混在率住居系	94.8%
店舗系	1.7%
工業系	3.5%

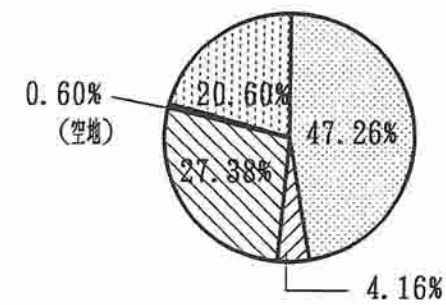
・町会現況図



・用途地域図



・土地利用現況



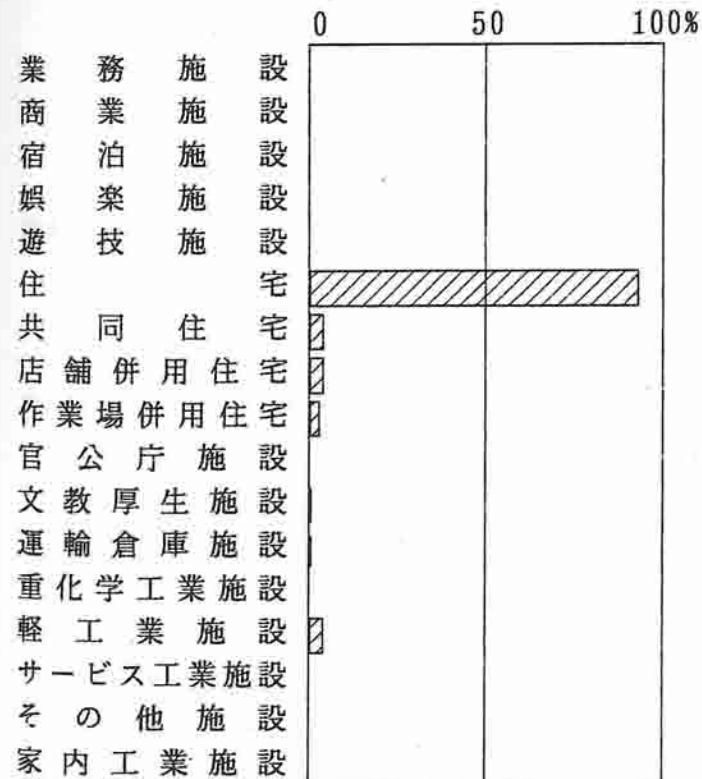
土地利用凡例

農地
山林・原野
市街地(宅地)
空地
その他

2. 建物指標

・建物棟数	917棟
・木造建物	866棟
・非木造建物	51棟
・建物面積	32,111.01㎡
・木造建物	29,697.06㎡
・非木造建物	2,413.95㎡
※建物面積は1階の面積	
・住宅率	93.0%
・木造率	94.4% (866棟)
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	24棟
・同上率	2.8%
・建物階層別現況(木造建物)	
1階	203棟 23.4%
2階以上	663棟 76.6%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	32本	172.0本/㎢
・幹線道路率	2本	10.7本/㎢
・公共空地面積		0㎡
・公共空地率		0%
・1人あたり公共空地		0㎡/人
・公共空地内容(*指定避難所)		
名称	面積	
1. 高校	0㎡	
2. 中学校	0㎡	
3. 小学校	0㎡	
4. 公園	0㎡	

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	24本
・1消火栓あたり世帯数	33.7世帯/本
・消防水利貯水施設数	3 (0)か所 ()内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	0か所
・一般取扱所	1か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和57年 9月(缶18号)	22棟	0棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
・崖崩れ被害 (年 ~ 年)			0件
・火災出火件数 (年 ~ 年)			0件
・1923関東大地震被害			
家屋全壊			0戸
家屋半壊			0戸
被害率			0%

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	0か所	
医院	0か所	
休日診療所	0か所	
警察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

8. 危険度評価

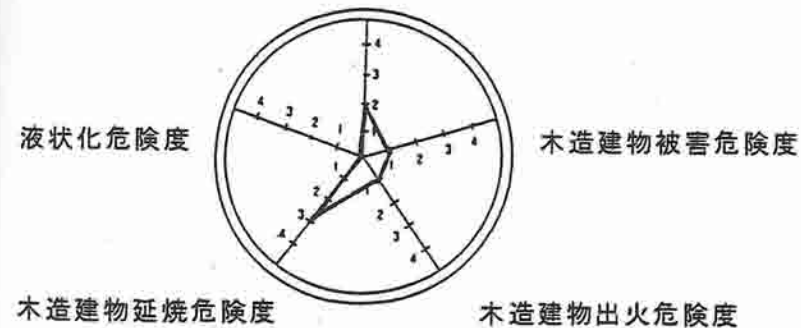
・内水災害危険度	2ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	1ランク
・木造建物延焼危険度	3ランク

地盤	地盤の地震動危険度	低地 2	台地 1ランク
危険度	液状化危険度	" 1	" 0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4

内水災害危険度



9. 地盤条件

地盤は、台地で硬く、低地（谷底平野）で軟らかい。この地域は、台地で震度5（+）（強震の強い方）、低地で震度6（-）（烈震の強い方）の地震が予想される。

10. 問題点の整理

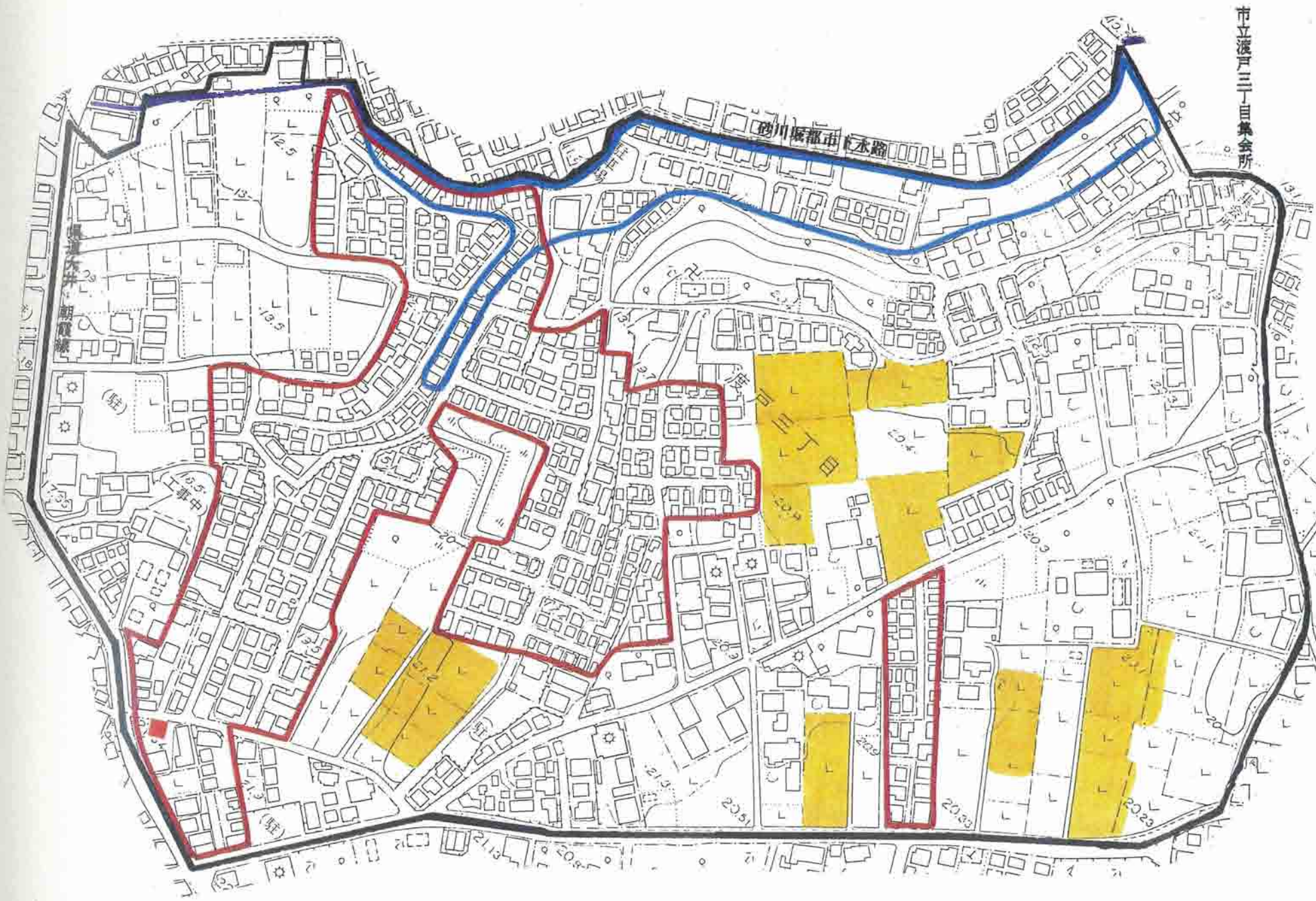
災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	畑の冠水。	1. 水防能力	水防施設は設置されていない。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	台地の地盤条件は良い。したがって台地部の建物倒壊の危険性は低い。しかし、低地部では注意を要する。	3. 消防能力	消防能力はやや高い。
4. 出火危険	出火の危険性は低い。	4. 防火能力	木造家屋密集地域の防火能力は低い。
5. 延焼危険	不燃領域率は50%～70%と見込まれるため延焼の恐れがややある。	5. 避難収容力	町会内には指定避難所がないため収容力は低い。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

指定避難所は、勝瀬町会の避難所（勝瀬小学校、勝瀬集会所、榛名神社）を使用する。したがって避難可能な道路は、町会内から町会外へと延びるため、特に道路の狭隘化の予防対策が必要となる。内水災害は、畑の冠水が予想されるため、雨水が畑（低い所）へ流入しないように、住宅地内の下水路の整備及び貯留施設の整備が望まれる。

※ 想定震度 台地5（+）（強震(強)）
 低地6（+）（烈震(強)）

防災現況図A(災害発生要因)

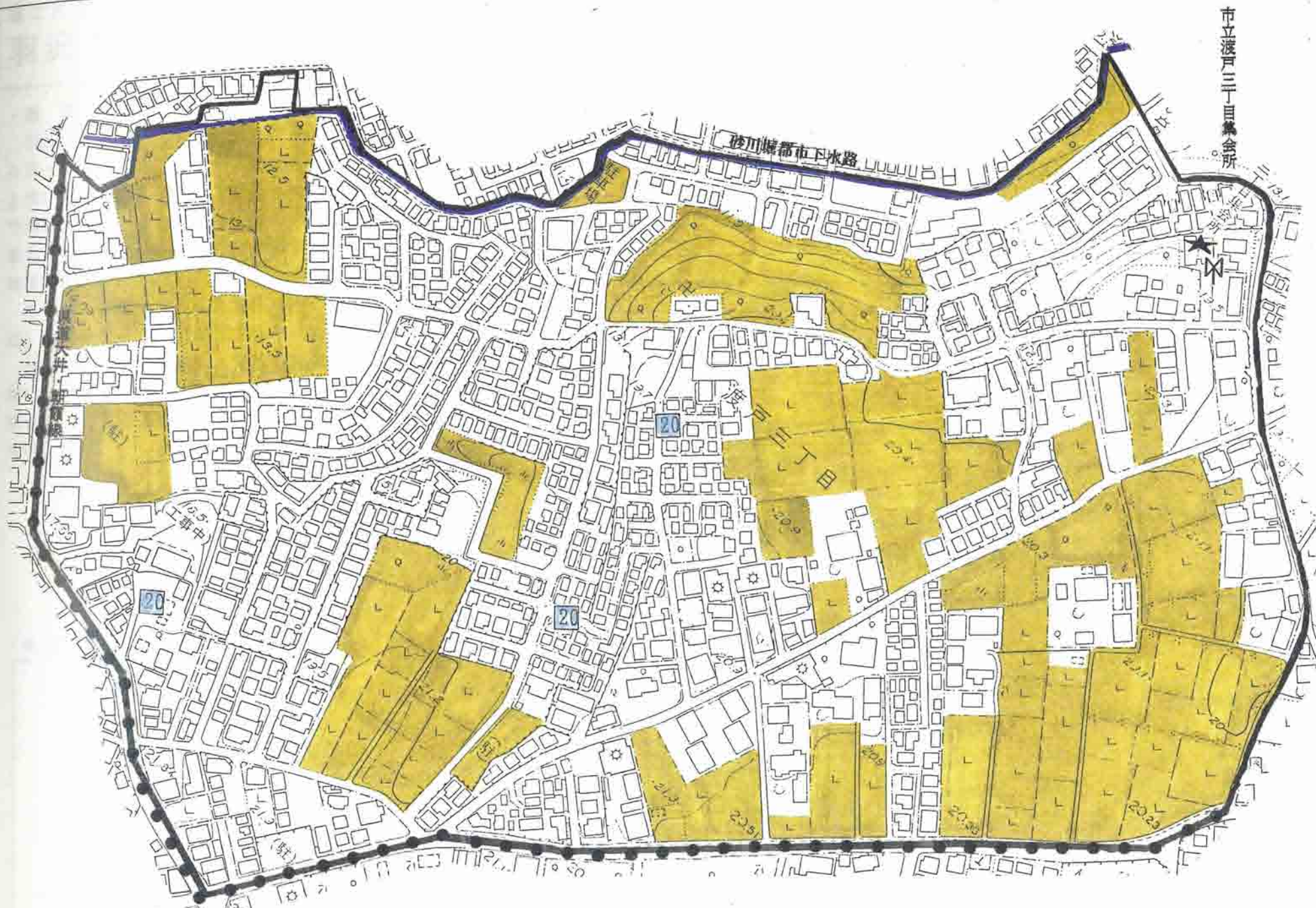


市立渡戸三丁目集会所

凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立 体 交 差
■	木造家屋密集地域
—	河 川 ・ 水 面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
■	浅い谷・低地(谷底平野)
既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水域
■	床下浸水域



防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水 防 施 設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休日診療所
	指定避難所
	公 園
	河 川 ・ 水 面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

